

日本気象学会昭和36年度秋季大会

会期：昭和36年11月7日（火）8日（水）9日（木）

会場：東京理科大学（東京都新宿区神楽坂1の3）

（詳細は307頁）

昭和36年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれますから、希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

次の日程に従って行われます。詳細は各受持委員に御照会下さい。

名 称	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員	名 称	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
山の気象	6月		高層課：大井	気候	1月	11/30日	長期予報：朝倉
乱流と低層気象	6月		測器課：竹内	太陽活動	1月	11/30日	長期予報：朝倉
高層気象	7月		高層課：大井	気象統計	1月	11/30日	長期予報：朝倉
梅雨について	7月		研究所：松本	観測と測器	2月		測器課：清水
(数値予報・総観気象)			予報課：石原	大気大循環	2月		予報課：石原
気象学史と気象教育	8月		研修所：渡辺	長期予報	2月		長期予報：朝倉
生気候	9月		研究所：神山	前線について	3月		予報課：石原
大気汚染	9月		研究所：神山	(総観気象・レーダー)			
気象災害	10月		研究所：渡辺	航空気象	3月		東京航空：上松
風のシンポジウム	11月	9/30日	測器課：清水				
気象電気	12月	10/30日	研究所：今井				

10月の例会

気象災害

会期：昭和36年10月20日（金）9時より

会場：気象庁第1会議室

講演題目

1. 荒井隆夫（気象庁統計）：台風災害の一特性（15分）
2. 渡辺和夫（気象研台風）：インドのサイクロン災害（15分）
3. 蔵重 清（気象研台風）：日本における集中豪雨（総合報告）（25分）
4. 奥田 穰, 当舍万寿男（気象研台風）：昭和36年

- 6月の豪雨による天竜川流域水害の一断面（20分）
5. 渡辺次雄（気象研修所）：伊勢湾台風による災害の連関分析（15分）
6. 大滝俊夫（横浜気象台）：横浜市内の崖くずれの予報について（20分）
7. 高橋浩一郎（気象庁長期予報）：自動車事故の一理論（15分）
8. 久米庸孝（気象庁予報）：台風の防災効果の評価について（15分）

シンポジウム

気象庁の防災業務になにを望むか